



聞きし者、皆、牧者が語りし
 事を奇とせり。惟、マリヤは
 此等の言を悉くその心に蔵め
 て、之を守れり。

(ルカ2:18, 19)

彼の母は此等の言を悉くその
 心に蔵めたり。(ルカ3:51)



仙台正教会
 教会だより

2025年
 9月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL(022)225-2744

FAX(022)224-3080

<http://www.sendai-orthodox.jp>

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

心の中に「引き出し」をたくさん
 作っておこう。そしてその中に「わ
 からないこと」を入れておこう。

「わからないこと」には二種類あ
 る。一つ目は「知識」として知らな
 いこと、理解できないこと。言葉の
 意味とか関連性とか構造とか。しか
 し今、わからなくても、やがてわか
 る時が来る。二つ目は「人生」にお
 ける体験としてわからないことがあ
 る。なぜ私が苦しむのか。どうして

こんなことを味わうのか。この出来
 事が起こった意味とは何か。それら
 がすぐに理解できなくても、いつか

必ず「ああ、あれは、こういうこと
 だったのか」とストンと心の底に落
 ちる時が来る。だから、「わからな
 いこと」を棄てるのではなく、かと
 いって、いつまでも目の前に於いて
 悩むのではなく、心の引き出しにし

まっておこう。できれば表にラベルを
 貼って、すぐに取り出したり、またし
 まつたりできるとよい。

私たちの信仰の最高の模範である生神
 女マリヤも、理解できないことを「心に
 蔵めた」のである。イイススを童貞のま
 ま産み羊飼いたちの礼拝を受けた時、そ
 してまた十二才のイイススが神殿で行方
 不明になって心配して探した時、こうし
 た理解に苦しむ出来事や言葉を、マリヤ
 は「心に蔵めた」のである。「蔵める」
 とは心の中に気を付けて守り保っておく
 という意味である。つまりマリヤにも心
 の引き出しがあったと言える。

生神女マリヤは、恐らくハリストスが
 復活した時に、より明確には聖神が降臨
 した時に、これらの意味を悟ったことだ
 ろう。それまで30年は経過している。

旧約では、エジプトに売られたイオシ
 フが、兄弟たちを赦す言葉を発するまで
 約40年かかっている(創世記50:20)。

答えが見つかるまで短い時もあれば長
 い年月の時もあるだろう。しかし神様か
 ら答えが与えられるその時まで、心の引
 き出しに蔵めておこう。(D)



で些か緊張して
おりますが、規
模の大小に関わ
らず全ての教会
は等しく「神の
家族」であるこ

この度、石巻教会から赴任致しま
した司祭のルカ田畑と申します。仙
台のような大きな教会は初めてなの



着任のあいさつ

司祭ルカ田畑隆平



とを忘れずに、心の繋がりを大切に
した牧会に務めたいと思います。

信仰という縦軸と、交わりという
横軸がさらに深まり、仙台、中新
田、白河教会がそれぞれの地に立つ
十字架として益々福音を証しするこ
とができるよう、お仕えできればと
思います。

よろしくお願い致します。



蔓延し、教会活動
も思うようにでき
なかったことが悔
やまれます。ま
た、ワシリイ加藤
神父様のご永眠、

この度、石巻正教会へ転任となりま
した。仙台正教会へは2019年の秋
に赴任しましたが、すぐにコロナ禍が



離任のあいさつ

長司祭ダヴィド水口優明



セラフイム府主教座下の離仙によつ
て、私一人での管轄を余儀なくされ、
十分な牧会や啓蒙、宣教ができなかつ
たことも申し訳なく思っております。
約六年の間、皆様には大変お世話にな
りました。石巻は距離的に近いので、
様々な機会に再会できると思っていま
す。それまでお互いに体に気を付け
て、元気で会いしましょう。



に乗って
途中参加
し、盛会
となった
教区行事
を味わう
ことがで
きた。天
候にも恵
まれ、楽
しいひと
時となつ
た。

東北ブロック教会学校夏季修養会

7月27日(日)、「東北ブロック教会

学校修養会」が、昨年と同じく盛岡正教
会の夏休み子供会とタイアップした形で
開催された。去年より参加者が多く、管
轄区教会以外としては盛、石巻、涌谷な
どから合計約40名もの子供と大人でバー
ベキューやスイカ割りなどを楽しんだ。
水口神父も仙台の聖体礼儀の後、新幹線

水口神父様・オリガマトシカ様送別会

アキラ笹川 皓

石巻教会にご異動となりました水口神父様とオリガマトシカ様の送別会を8月10日に開催しました。はじめ

に、お別れの言葉を送り、神父様へ記念品、マ

トシカ様には花束を贈呈しました。婦人会、方舟会、聖歌隊からも餞別が贈呈され、水口神父様からは、仙台教会赴任時のご苦労など、6年間を振り返るご挨拶をいただきました。ハリサンプ大立目兄の音頭で乾杯したのち、聖歌隊による「群青」の合唱が披露されました。またステファン



▶ 聖歌隊による合唱



▶ ステファン高橋兄の演奏



▶ 土田ファミリーの演奏

高橋兄の歌唱指導によりニコライ山田兄のギター伴奏のもと全員でお別れの歌である「シャロームの歌」を合唱しました。そして、ハリッサ土田姉とマトロナ土田姉の親子ピアノ連弾と、マトフェイ土田兄のピアノ演奏には、皆で聴き入りました。最後には、即興で水口神父様がお別れの言葉をいただくとともに、送別会を終了しました。水口神父様とオリガマトシカ様の石巻でのますますのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

聖歌隊総会

ニコライ 本多弘明

今年も、猛暑の時期の聖歌隊総会になりましたが、それでも14名の聖歌隊員が、夏バテもなく元気に参加しました。残念ながら今回の総会が、聖歌隊にとり水口神父様とオリガマトシカとともに語り合える最後の機会となってしまうました。

コロナ禍に遭遇して以降、これまで聖歌隊が経験したこともない苦難と試行錯誤の日々を送るなかで、水口神父様とマトシカには、いつも真摯かつ温かく見守りつつお導きいただき、言葉では言えない感謝の思いでいっぱいだと思います。とはいえ、さほど遠くない石巻正教会なので、これからもご指導をお願いしたいと思います。

神父様とマトシカが主の御名による平安に満たされ、石巻正教会でもご活躍されることを心よりお祈りいたしております。



白河正教会だより

巡回

8月2日(土) 3日(日)、水口神父が白河正教会を巡回し、奉神礼を行った。白河教会における水口神父の最後の聖体礼儀となった。祈祷後、会館において昼食を取り水口神父の送別会が行われた。参加者全員が一人一人挨拶し、別れを惜しんだ。

聖堂外壁修復工事



白河生神女進堂聖堂は現在、外壁修復の工事で、全体が足場とシートで覆われている。文化財に指定されている聖堂は、外壁の塗装の剥がれが目立ち、また基礎石の表面劣化も顕著になつて来ているため、修復することとなった。8月中には竣工する予定。

中新田正教会だより

代式祈祷と奉仕

7月13日(日)、代式祈祷が行われ、祈祷後に、ローソク・リサイクルのための芯作りを行った。砕いた蠟の中から芯を取り出し、受け金具(これも再利用)につなぐ作業。細かい手作業を黙々とこなして、たくさん芯を作成することができた。後日、芯を真つすぐ立ててカップにセッテングするノウハウを水口神父が教授した。



巡回

7月25日(金) 26日(土)、水口神父が中新田正教会を巡回し、奉神礼を行った。中新田教会における水口神父の最後の聖体礼儀となった。引き続き月例パニヒダと共にマカリイ若松兄の一年祭、ルカ板垣兄の40日祭が行われた。祈祷後、教会西墓地において、アンナ高橋シギ子ご夫妻とルカ板垣兄の納骨が行われた。

消 息

永眠

七月二十五日 【中新田教会】

ニコライ 高橋貞雄 兄(78歳)

永遠の記憶



七月二十五日 【中新田教会】

イオアン 後藤俊男 兄(84歳)

永遠の記憶

戦後80年記念 (その3)

昭和20年の執事会の記録より

○総代会

(昭和二十年八月二十九日 午後三時より
イグナティ鹿島宅に於いて開催)
出席者 岩間長司祭 菊地 鹿島(二総代)
(片倉、太田、板橋の三総代は何れも不在の為欠席)

岩間神父より

七月十日の戦災後、間もなく総代会開催せざるべからざりしも各総代中には数戸の罹災者もあり、且つ聖堂焼失後、焼失せる周囲の(状態)混乱状態、秩序未だ回復せざる事柄等もあり、^{みながた}此の総代会は今日に延引せる所以なり。猶お本日は出席者も少なきことなれば、差し当たり急を要する事項丈け御協議を得度き旨の挨拶ありて左の協議に移れり。

一、祈祷所兼帯の司祭住宅建築の件
聖堂戦火(後)前より聖器物を収容し戦災後は更に司祭宅避難処たりし聖堂前の防空壕は湿潤且つ通風悪しく保健上衛生に不適當なるのみならず、疎開収容しつ

つある聖器物の實質を毀損する鮮なからざるものあり。此の際、一日も早く祈祷所兼用の司祭住宅を建築し当教会としての暫定的祈祷所聖器物保護収容所、且つ司祭住宅に充当すべきことを協定せり。尚お、上記司祭住宅の設計図は便宜上先般河井氏に依頼せるが、同氏が作製せる設計図は左の如し。

(備考)

一、当住宅建築の位置は聖堂南南西に当たる戦災前の信徒控所の場所とす
一、便所は適當の位置に外便所に造るを可と認む



一、本図に記載なきも台所外側の適當の場所に物置一棟必要と認む。之れは当教会境内西北隅にある「警防団にて造れる唧筒置き場」を譲り受け之に当つるは得策ならん。

一、尚お、岩間神父より河谷氏に交渉し該住宅建築見積書を提出し貰う予定。

追記

一、其の後、河谷氏(河谷宇三郎氏)より提出せる見積書に依れば上記司祭住宅は総坪十五坪にて九千五百円也(坪当り六百参拾参円餘なり)

二、会堂建築に関する件
戦災後適當なる時期に於いて会堂を建築せざる可からず。此の件に就きては追つて協議を遂ぐることとせり

三、聖器物保存に関する件
聖器物を現在の俣、防空壕に収容し置く時は祭服の如きは湿潤の為め殆んどに甚だしき損害を受け品質を損すること著しきを以て、此等聖器物は可成り速やかに適當なる場所に移転して保存せざる可からず。而して先ず差し当たりの移転先として鹿島信徒宅に左記聖器物を移送することとせり。

祭服○着 棺覆

四、戦災復興費献金の件
仙台正教会戦災復興費基金として佐藤彰氏より金五拾円、故ユリヤ沼倉姉の遺言により金百円を献金せられたり。

以上



敬老会モレーベン・祝賀会と 田畑神父様の歓迎会



9月14日(日)聖体礼儀に続いて、聖名日モレーベンと共に敬老感謝祈祷を行った後、会館4階にて新たに赴任されたルカ田畑神父様の歓迎会と共に敬老会を執り行います。ふるってご参加ください。



なお、準備の都合上、9月7日までに、祝賀会参加希望の方は、教会までお知らせくださると幸いです。



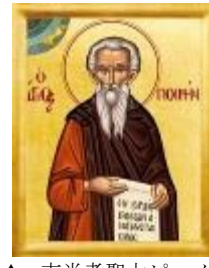
※ 今年は敬老対象者への贈呈品はご用意いたしませんのであらかじめご了承ください。

9月聖名日 モレーベンのご案内 9月14日(日)聖体礼儀後

9月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲聖フェクラ



▲克肖者聖大ピーメン

日付	聖名	氏名(敬称略)
9/1	フェクラ (パレスチナの聖致命処女)	本多美樹
9/8	ナタリヤ (ニコミディヤの聖致命女)	勝又禮子、横山昌子、高橋とも子、本間初枝
9/9	ピーメン (克肖者聖大)	村井 潔
9/10	モイセイ (スキトの克肖者)	熊谷壮仁
9/10	サワ (ブスコフの克肖者)	熊谷篤彦
9/12	アレキサンドル (コンスタンチノープルの克肖者)	小野正司、横山俊平
9/14	シメオン (登塔者)	中川智彦
9/15	ルフィーナ (カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	伊勢美樹、小松京子
9/17	モイセイ (聖預言者)	大槻守孝、佐藤芳伯、菅原敏明、横山純一
9/18	エリザベタ (前駆授洗イオアン之母)	遠藤かつ子、八文字積子
9/18	ザハリヤ (聖預言者)	安東順
9/19	ミハイル (神使首)	小野寺啓、菅原哲夫、菅原拓也、高橋良和、早坂清人、若松貢
9/24	フェオドラ(アレキサンドリヤの克肖女)	高橋忍
9/25	フェオドル (アレキサンドリヤの聖致命者)	熊谷崇彦
9/28	ニキタ (ゴットの聖大致命者)	高橋昌文、村井聡
9/30	ソフィヤ (ロマの聖致命女)	板橋久美子、小堀たまき、沢辺澄子、山中歌子、菅原きみ子、高橋寿子、佐々木恵理子、小野初美、平塚喜美子、本間ゆう子
9/30	ウエラ (ロマの聖致命女)	沢辺佳子、村井恵子、山中由美、服部幸枝、小野 怜、平塚祥子
9/30	ナデジタ (ロマの聖致命女)	沢辺真澄、清水彩子、佐々木陽子、後藤和枝
9/30	リュボフ (ロマの聖致命女)	伊藤智子、高橋秋子、高橋真美、葛西裕子、木村富子、大場うめ子、佐藤幾久子、本間美帆

執事会報告

令和6年8月5日(日)

午後14時～15時30分 3階会議室

一、報告事項

※今回の人事異動で水口神父は石巻へ、仙台には石巻の田畑神父が異動することとなった旨が改めて報告された。

・永眠者 キプリーラ横山栄子姉(102才) 8/3 広島で葬儀

・7/16に水槽掃除がトーエイライニングによって行われた。

・7/17に水質検査が行われ、問題なしとの結果が得られた。

・7/22に火災報知器等の点検が中央理化によって行われた。駐車場の非常ベルの音量不足が指摘されたので、早速取替を行い、点検結果は優良となった。

・7/20にミニバザー委員会が開かれた。田畑神父様を迎えてから、どうかを検討することになった。

・7/27に盛岡で夏休み子供会(教区協賛)が開催された。水口神父が祈祷後に

参加し、交通費などの清算を行った。

・会計報告

一般/教区分担金第1回目 77万6千円を納めた。

収益/7月中に納税を完了した。

二、協議事項

(1)擁壁塗装の件

全体の見積もり金額として約80万円。七十七銀行側は見合わせて正面のみにしてはという意見も出た。次の(2)との予算的兼ね合いもある。

(2)聖堂亀裂修復の件

現在の塗料にアスベストが含まれているか否か(調査必要)で8万円ほど差はあるが、いずれも90万円を超える高額の見積もりが提出された。

※上記(1)と(2)とも相見積りを取ることとなり、継続検討課題とする。

(3)敬老会の件

種々検討した結果、今年は贈呈品(支倉焼やランパード)は配布しないこととし、モレーベンと祝賀会のみ行う。

(四)田畑神父様歓迎会の件

敬老会祝賀会と共に開催する。準備等は婦人会・方舟会に一任。

献金報告 (7.7.23～7.8.17)

○聖堂内献金 五万四千二百六十六円

○感謝献金

小野不三江「横浜」、ラストコ

高橋ゆり

○聖名祭感謝献金

片上祐子、及川聡子

永元道子

木村良治、太田ちえ子

○パニヒダ献金

田野崎憲子「アンナ熊谷姉40日祭」

水口敦子

安永ゆり

笹川皓、村井恵子、太田ちえ子

高橋嘉彦

山中由美、高橋紀武、伊勢洋子

※敬称略



8月10日(日)、月例パニヒダと共にセルギイ府主教座下の80年祭の記憶が行われた。



9月行事・奉事予定

2日(火) 定例執事会(14時)

6日(土) 徹夜祷はお休み 第4調

7日(日) 第13主日代式祈禱(10時30分)

書札 コリント前16:13・24

福音 マトフェイ21:33・42

※この日は代式祈禱が行われます。

◆ 聖堂清掃奉仕の日

6・7日 田畑神父白河出張

6日(土) 18時 主日徹夜祷

7日(日) 10時 主日聖体礼儀

／秋の総パニヒダ

13日(土) 主日徹夜祷 第5調(17時)

14日(日) 第14主日聖体礼儀(10時)

書札 コリント後1:21・1:4

福音 マトフェイ22:1・14

■月例パニヒダ

◆敬老・聖名日モレーベン

／田畑神父様歓迎および敬老祝賀会

14日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

18日(木) 宣教ブロック委員会 於二関

20日(土) 主日・祭日徹夜祷 第6調(17時)

21日(日) 第15主日／生神女誕生祭

聖体礼儀(10時)

書札 フィリッピ2:5・11〔祭日〕

福音 ルカ10:38・42, 11:27・28〔祭日〕

※婦人会「山田正教会」訪問

23日(火)・祝 宣教ブロック

誦経奉仕者研修会 於金成

26・27日 田畑神父中新田出張

26日(金) 十字架挙栄祭 17時 晩祷

27日(土) 十字架挙栄祭 10時 聖体礼儀

書札 コリント前1:18・24

福音 イオアン19:6・11・13・20・25・28・30・35

27日(土) 主日徹夜祷 第7調(17時)

28日(日) 第16主日聖体礼儀(10時)

書札 コリント後6:1・10

福音 マトフェイ25:14・30

9月の予定

【代式祈禱】7(日)

【聖堂清掃奉仕】7(日)

【月例パニヒダ】14(日)

【敬老・聖名祭感謝祈禱】14(日)

【歓迎会・敬老祝賀会】14(日)

【婦人会】山田正教会訪問 20-21(日)

【聖歌練習】→7(日)[発声練習]、28(日)



誦経奉仕者研修会

今年も誦経奉仕者研修会が金成教会にて開催されます。今回は机上の学びではなく実践に絞った内容を予定しています。プライベート・レッスンのような懇切丁寧な研修会にしたいと思います。ぜひご参加ください！

日時：9月23日(火)・秋分の日

場所：金成ハリストス正教会